



# 熊谷市 記者クラブ取材情報

平成28年3月24日発表  
担当課:企画課

事業の名称等

熊谷市総合戦略の策定と取組について

1. 日時

平成 年 月 日 ( ) 時 分

2. 場所

3. 事業概要

**1 熊谷市総合戦略の策定について**

(概要)

まち・ひと・しごと創生法による地方創生の取組の中、地方版総合戦略として熊谷市の課題に対応するために作成。人口減少に歯止めをかけるとともに産業や、スポーツといった本市が持つ「強み」を生かした魅力的なまちづくりを進めるための方針や取り組みを定めたもの。

**2 地方創生の推進のための協議会組織の設立 (埼玉県北部地域地方創生推進協議会)**

(概要)

3月23日発足。地方創生の取組のうちの一つで、深刻な人口減や少子高齢化問題への対応のため、埼玉県大里地域、児玉地域の7市町(熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町)が連携し、情報収集・発信、結婚支援、就職支援、空き家活用の事業を実施する。このような地方創生の推進を目的とした複数市町による協議会の設立は埼玉県内初となる。

**3 「熊谷で暮らす」第2号の完成について**

(概要)

熊谷市が移住候補地となるように、市での生活や生き方を想像できるように作成している。第2号として、今回は、熊谷での暮らし方という点に着目し、移住だけではなく定住についての要素も盛り込んでいる。紙面については、特に女性・夫妻をターゲットとしている。

4. 特徴やPRポイント

**1 熊谷市総合戦略の策定について**

奨学金利子の補助や新幹線通勤に関する補助を新たに開始

**2 地方創生に向けた広域連携協議会組織の設立 (埼玉県北部地域地方創生推進協議会)**

- ・地方創生の推進を目的とした複数市町による協議会の設立は埼玉県内初
- ・単独の市町では対応が難しい課題について、互いの資源や強みを活用しながら取り組む。

**3 「熊谷で暮らす」第2号の完成について**

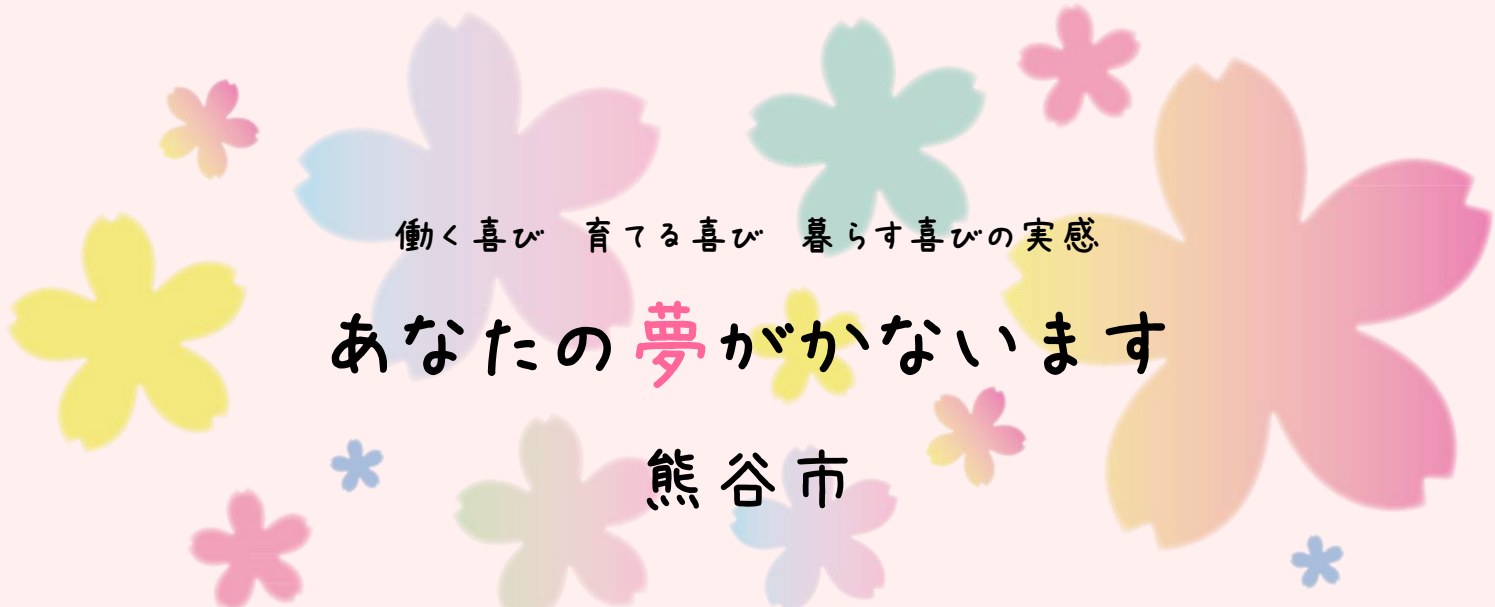
- ・担当課において、取材、撮影、紙面作成等行っている。
- ・熊谷で暮らすモデルケースとして、子育てと仕事の両立を実践している家族を取材
- ・市の助成制度について、エッセンスのみを記載し行政の硬いイメージを低減

5. その他

※ 資料の有無(  有 ・  無 )

担当者 企画課 長谷川・細江・土肥

連絡先 048-524-1111 (内線528)



働く喜び 育てる喜び 暮らす喜びの実感

あなたの夢がかないます

熊谷市

「熊谷市のイメージはなんですか？」

そうです。熊谷市は「快晴日数が多くて暑い」で有名なまちです。

でも、それが熊谷市の全てではないのはご存知ですか？

このパンフレットは、「熊谷市総合戦略」の紹介を通じて、

「なんか、熊谷市っていいまちみたい」

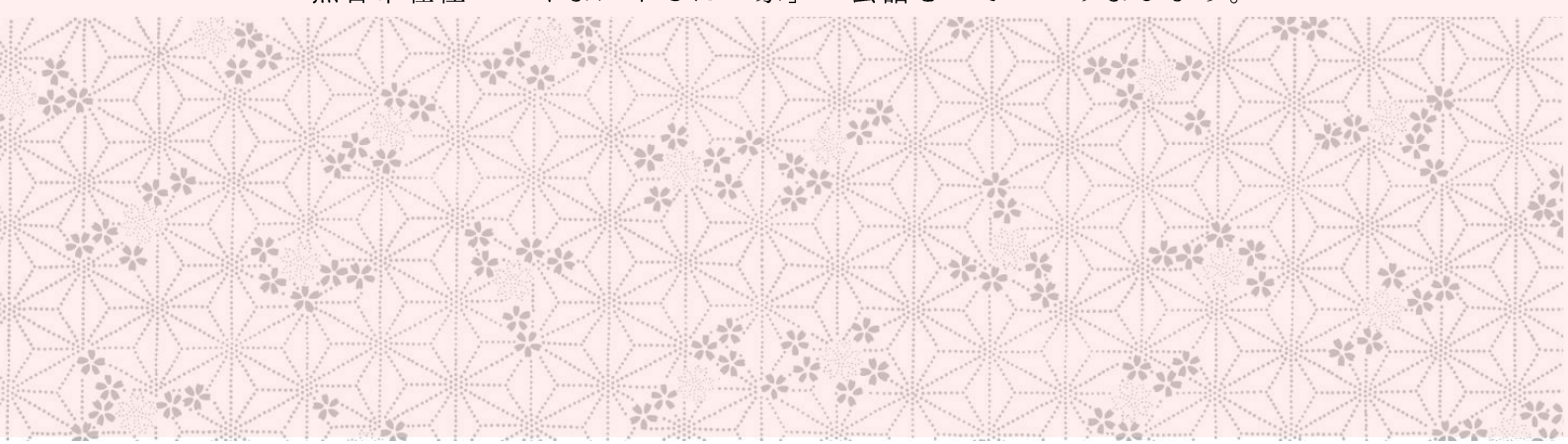
「熊谷市に住むのもいいね」

とさせていただけるように作成しました。

さてさて、

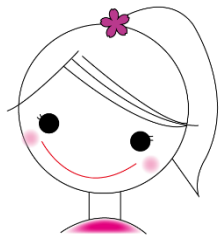
熊谷市の魅力をお伝えするために、

熊谷市在住の「くまがやさん一家」の会話をのぞいてみましょう。



熊谷市の中学校に通う「くまがや さくら」さん。  
 学校で、「自分の住んでいるまち」について調べるといふ授業を行っています。  
 家族にも、自分たちが暮らす「熊谷市」について聞いてみました。

くまがや家



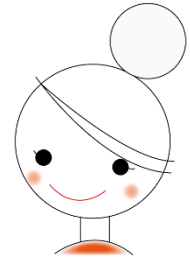
さくら



なおざね(弟)



むさし(父)



とみよ(母)

ある日のくまがやさん一家の会話

さくら

「学校で『自分の住んでいるまち』について調べているんだけど、みんなだったら何を書く?」

とみよ(母)

「そうねえ、熊谷市は公園が多いし、教育熱心で、子育てを助けてくれる人がたくさんいることかな。みんなやさしいよ。」

なおざね(弟)

「ぼくは、ラグビーとかサッカーが思いっきり楽しめるところ! ラグビーワールドカップ(こ)もあるし、僕も堀江翔太選手みたいになりたいんだ!」

むさし(父)

「うちわ祭に花火大会、楽しいこといっぱいあるぞう。お父さんとお母さんが結婚したのも、花火大会がきっかけだったんだ。な、母さん。」

とみよ(母)

「お父さん、そんな昔の話はいいのよ。さくらは何が自慢だと思うの?」

さくら

「へえ、お父さんとお母さんの結婚のきっかけは花火大会だったんだ。私がお買物するところが沢山あるところかなあ。可愛い洋服や靴が買えるし。あとは、新幹線が停まるから、東京のおじいちゃんとおばあちゃんにすぐに会いにいけるところ! 熊谷市って、良いところがたくさんあるのかもしれないね。」

熊谷市総合戦略ってなに??

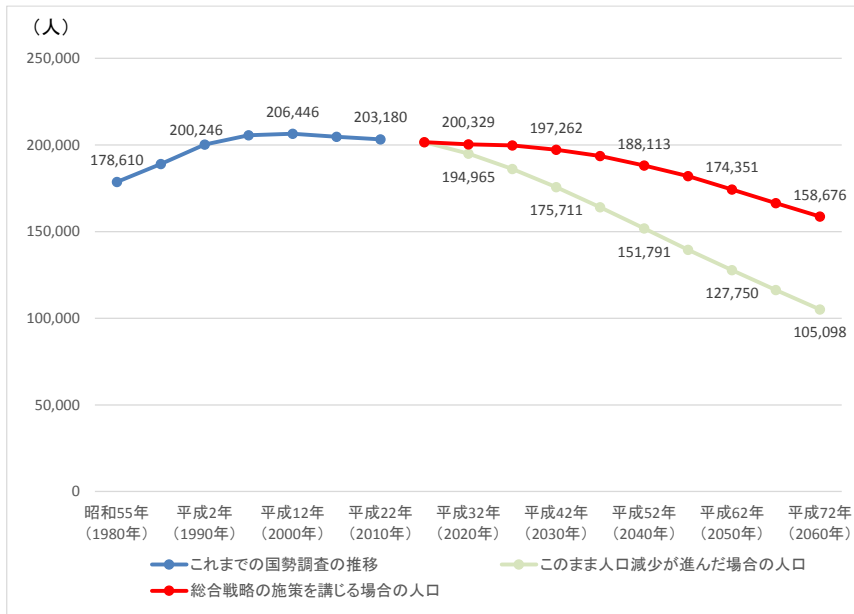
- ・国は平成 26 (2014) 年に「まち・ひと・しごと創生法」を定め、少子高齢化・人口減少に対応し、将来にわたって活力ある地域社会を維持することを目的に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を作りました。
- ・熊谷市は、平成 12 (2000)年の 206,446 人をピークに人口が減少傾向にあります。そこで、熊谷市では、人口の減少に歯止めをかけるとともに、産業やスポーツといった熊谷市が持つ「強み」を生かした魅力的なまちづくりを進めるための方針や取組を定めた「熊谷市総合戦略」を新しく作りました。計画期間は平成 27 (2015) 年度から平成 31 (2019) 年度までの 5 か年です。

「熊谷市」について調べ始めた「さくら」さん。  
ある日、お父さんから気になるメッセージが届きました。



お父さん

この前の宿題のことなんだけど、気になる情報を見つけたんだ。学校で発表してみたらどうかな？



さくら

このグラフはなに？



お父さん

熊谷市の将来の人口がどうなるかを予測したグラフだよ。  
平成12(2000)年から熊谷市の人口が減っているんだ。  
このままだと、平成72(2060)年には、105,000人になってしまうみたいなんだ。



さくら

それって、私たちに何か影響があるの？



お父さん

人口の減少は生活に大きな影響があるんだよ。  
特に若者が減ると、熊谷市の活気がなくなってしまうんだ。



さくら

私たちの将来が不安なこと???



お父さん

そうならないためにも、今、何をやるかが大切なんだ。  
まず、さくらのような若い人たちが熊谷市で希望の仕事に就けるような環境や、結婚して子どもを持ちたいと思う人たちの夢や希望をかなえることができるような仕組みをつくるんだ。  
そして安心して暮らせるまちをつくる必要があるだね。



「熊谷市」について調べている「さくら」さん

熊谷市の「今」、

そして、熊谷市とそこで暮らす自分の「未来」が見えてきたようです。

## 熊谷市の将来の姿～目指すべき方向性～



熊谷市は、人口の減少を抑え、産業やスポーツの強みを生かした魅力的なまちづくりを進めるため、3つの「将来の方向性」を定めて、取組を進めているんだって!!

- 1.働く(働きたい)人が働き続け、暮らし続けられる雇用の創出 (雇用促進)
- 2.子育て世代等にとって暮らしやすく魅力的なまちづくりの展開 (転入・定住促進)
- 3.20代・30代を中心とした出産・子育てに関する希望の実現 (出産・子育て支援)

### 基本目標1：働く(働きたい)人が働き続け、暮らし続けられる雇用の創出

名称	目標値 (H31年度)
生産人口の就業者割合	70% (H22:66.7%)

施策の方向性：○企業誘致・新産業拠点整備 ○起業・創業支援及び事業継続支援  
○就労支援 ○商業振興によるにぎわい創出

### 基本目標2：子育て世代等にとって暮らしやすく魅力的なまちづくりの展開

名称	目標値 (H31年度)
社会動態人口	毎年1,200人増 (H26:179人増)

施策の方向性：○安心して暮らせる生活環境の確保と経済的支援  
○ファンづくりを通じた転入支援

### 基本目標3：20代・30代を中心とした出産・子育てに関する希望の実現

名称	目標値 (H31年度)
合計特殊出生率	1.41 (H26:1.23)

施策の方向性：○出産支援 ○子育て支援 ○教育環境の充実

熊谷市ではどんな暮らしが待っているのか?見てみましょう⇒⇒⇒

# 熊谷市に生まれ・育ち、暮らし続けられる「持続可能なまち」

## ～熊谷ストーリー〈総合戦略により実現される望ましい姿〉～

### ストーリー①

設定：高崎線沿線の賃貸住宅（熊谷市外）に住む 30 代前半の夫婦。  
夫は都内、妻は埼玉県内に通勤。お互いに仕事が落ち着いてきて、子どもを持つことを検討中。



#### 【母への相談と情報収集】

（妻）「ねえ、お母さん。私たち、そろそろ子どもを持とうと思うんだけど、せっかくだから環境の良いところに引っ越すことを考えているんだ。どこか良いところないかな。」

（母）「あなたのおばさんに聞いたんだけど、熊谷が良いらしいわよ。夏の暑さで有名だけど、自然環境に恵まれていて、子育て支援も充実しているから暮らしやすいみたい。」

（妻）「ふーん、そうなんだ。知らなかったなあ。調べてみるね。ありがとう。」

（夫）「（カチカチッ）お、市のホームページなんてどこも同じかと思ったけど、僕たちみたいな夫婦向けの情報が充実しているんだ。しかもお母さんが言っていたみたいに子育てサービスが手厚いだけでなく、教育もしっかりしているんだね。しかも、住宅の購入や新幹線で通勤するための支援もしてくれるなんて太っ腹だなあ。」

#### 【決断】

（夫婦）「あの時、家族に相談したり、一生懸命調べてみて本当に良かったね。僕たちみたいな夫婦も多くて友達もすぐに出来たし、これからますます楽しみだね。」

### ◆ストーリー①に係る総合戦略の主な取組

#### ○若年層住宅購入に係る固定資産税等の課税免除

若年（40 歳未満）の転入者が市内で住宅新築・購入した場合、固定資産税等を一定期間免除します。

#### ○三世代ふれあい家族住宅取得応援

三世代以上の同居・近居の住宅を市内で新築・購入又は増改築した場合、熊谷市商品券を交付します。

#### ○スマートハウス補助

省エネ要件を満たした住宅を市内で新築・購入した場合、補助金を交付します。

#### ○勤労者住宅資金貸付利子補助

勤労者住宅資金の貸付を受けて市内で住宅を新築・購入した場合、返済に係る利子を補助します。

#### ○奨学金の返済に係る経済的な負担軽減

市内在住の若年者に、大学等卒業後の奨学金の返済に係る利子を補助します。

#### ○新幹線通勤助成

市内で住宅新築・購入した若年の転入者に、通勤に係る新幹線定期券購入代金の一部を助成します。

#### ○従業員転入奨励金

市内誘致企業に雇用されている市外在住の正社員又は新規就労正社員が市内に転入した場合、熊谷市商品券を交付します。

## ストーリー②

設定：生まれも育ちも熊谷、都内の大学（経済学部）に通う女子大生。

現在、就職活動中（新規参入や事業開拓をしている会社に興味あり）。

### 【就職活動中の出来事】

「結婚や出産のことも考えて、今のうちからお金を貯めておきたいから、自宅から通える企業に就職したいなあ…。」

「（インターネットで探していると）あ、市内にもたくさん会社があるんだ。ふ～ん、今度商工会議所で説明会があるみたいだから行ってみようかな。」

### 【決断】

「やったー、内定もらえた！就活を通じて、初めて将来を真剣に考えてみて気づいたけど、熊谷市って興味深い会社があるだけじゃなくて、子育て支援も充実しているし、これからもずっと暮らしたいって思えるまちだったんだわ。」



## ◆ストーリー②に係る総合戦略の主な取組

### ○本社機能事業所の誘致促進、中心市街地への企業立地支援、正社員の雇用促進

「熊谷市企業の立地及び拡大の支援に関する条例」に基づき、本社機能を持つ事業所の誘致、中心市街地への企業の立地及び正社員の雇用の促進を図ります。

### ○佐谷田地区新駅周辺開発、池上ほ場整備道の駅・食の拠点整備

熊谷流通センターの再整備や産業用地の創出で、災害備蓄機能を持つ産業拠点を整備するとともに、道の駅を核とした地域振興施設や食品関連企業との連携で、食の文化を生み出す交流拠点を整備します。

### ○農地所有適格法人（企業）誘致

企業誘致や法人化の支援を行い、農地の集積・集約により、農業所得の増加と新たな雇用を促進します。

### ○中小企業ものづくり団体支援

熊谷市域の事業所等によるものづくり団体の共同研究・開発を支援します。

### ○中小企業融資の促進

市内中小企業の経営安定や設備投資の支援のため、一般事業資金等の低利の金利設定や補助を行います。

### ○熊谷固有の農産品のブランド化

農業機関・団体の連携・協力による新規農作物の開発等を通じたブランド化・商品化を支援します。

### ○企業内保育所設置の促進

女性の継続的な就労支援のため、個別・複数企業の企業内保育所設置を助成し促進します。

### ○創業の促進・支援、女性の起業支援、空き店舗活用の支援

創業支援に係る補助制度を設けるとともに、女性の起業についてはセミナー・個別相談会等の開催や空き店舗等の利活用に係る支援を行います。

### ○女性版リターンワーク

女性の就労機会の拡大のため、女性対象の相談・登録窓口を設置し、就職情報の提供を行います。

### ○奨学金の返済に係る経済的な負担軽減（再掲）

### ストーリー③

設定：市内に住む4人家族。

(第1子(さくら)は13歳、第2子(なおざね)は10歳)

#### 【ある日の家族の会話】

(父)「母さんが頑張ってくれているおかげで2人ともものびのび育っているね。」

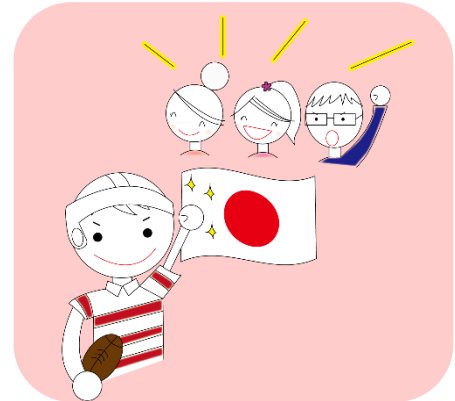
(母)「なおざねが生まれた時は、さくらの面倒を見ながらだったから大変だったけど、困った時は周りのママ友や子育て支援拠点の人たちが支えてくれたから助かったのよね。」

(父)「なおざねも、中学生になったら、自分の目指す道に向かって、部活動も勉強も思いっきり出来るといいよね。」

(なおざね)「僕、ラグビーやってみたい！できるかな!？」

(母)「もちろんよ、タグラグビーの授業もあるみたいだし、あなたもいつか日本代表かもね〜。」

(さくら)「楽しみだな、がんばってね！応援しているよ!!」



#### 【夢の実現～10年後～】

(なおざね)「家族や友達が応援してくれたおかげでラグビー日本代表に入ることができました！  
みなさんの恩に報いるためにもワールドカップで必ず勝ちます！」

### ◆ストーリー③に係る総合戦略の主な取組

#### ○不妊治療費の経済的負担軽減

特定不妊治療費だけでなく、男性不妊治療費も助成します。

#### ○周産期医療及び小児救急医療体制の充実

安心して子供を出産し、育てられる環境のために、周産期医療・小児救急医療機関を支援します。

#### ○予防接種情報支援

長期間にわたって多種類ある予防接種のスケジュールを、適切な時期にメールでお知らせします。

#### ○妊婦から子育て卒業までの相談支援体制整備

妊娠時から子育て卒業まで、出産、育児に係る父母の相談支援体制を整備します。

#### ○こども医療費無料化の拡大

こども医療費の無料化を高校卒業まで拡大します。

#### ○地域子育て支援拠点の充実

乳幼児親子だけでなく、妊婦から交流ができる場所として充実します。

#### ○ファミリーサポートセンター・病児等緊急サポート等の充実

親に代わり、安心して子供の面倒を見てもらえるような仕組みや預かり体制を充実します。

#### ○放課後児童クラブの充実

就労と子育ての両立を支援するため、年間3か所ずつ新たに整備するとともに、保育時間を拡大します。

#### ○学習支援充実くまなびスクール、英語教育の改革、魅力ある授業の充実、ラグビーによる郷土づくり

放課後等の補充学習〔くまなびスクール(中学校)〕、英語力(表現力)の向上(小中学校)及び各種分野の教職経験豊富なスタッフの派遣巡回指導(小中学校)で知・徳・体のバランスのとれた学力日本一を目指します。また、郷土に根付いているラグビー(タグラグビー)の普及で体力強化を図ります。





## 熊谷市総合戦略(概要版)

\*\*\*お問い合わせ先\*\*\*

熊谷市企画課

TEL: 048-524-1111(代)

E-mail: [kikaku@city.kumagaya.lg.jp](mailto:kikaku@city.kumagaya.lg.jp)



# くまがやで暮らす

## 新幹線通勤費用の一部に補助します。

- ☆おいでよ熊谷！新幹線らく賃通勤事業  
対象：40歳未満の転入者であって住宅を購入した方（建築を含む）で新幹線通勤する方  
補助の内容：新幹線定期券購入代金の一部（上限2万円/月）  
補助の期間：最長2年間  
○問合せ先：政策調査課  
電話：048-524-1114 FAX:048-525-9222

企業の新設等に伴い転入した方には、商品券20万円分を助成します。

## ☆従業員転入奨励金

- 対象：企業の熊谷市への事業所新設に伴い転入した正社員の方  
補助金額：20万円（商品券）  
○問合せ先：企業活動支援課  
電話：048-524-1470 FAX:048-525-9335

## 固定資産税などが一定期間免除されます！！

- ☆定住人口増加のための  
若年住宅購入に係る固定資産税の課税免除  
対象者：40歳未満の転入者であって住宅を購入した方（建築を含む）  
免除となる税：家屋に係る固定資産税及び都市計画税  
免除となる期間：3年または5年（2年間延長となる場合があります。）  
○問合せ先：資産税課  
電話：048-524-1329 FAX:048-525-7718

## 三世代で近居・同居された方に商品券最大25万円分を助成します！！

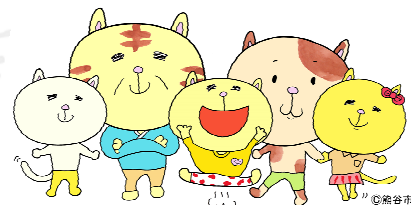
- ☆三世代ふれあい家族住宅取得等応援事業  
対象者：親世帯、子世帯が市内で同居または近居することで、3世代以上の家族となり、住宅の購入等をした方  
補助金額：最大25万円（商品券）  
○問合せ先：長寿いきがい課  
電話：048-524-1398 FAX:048-524-8790

## スマートハウスなどエコな住宅に補助します！！ 最大50万円

- ☆スマートハウス補助金  
補助金額：50万円（うち25万円分商品券）  
☆太陽光発電システム設置費補助金  
補助金額：1kWあたり2万円（上限10万円）  
☆家庭用燃料電池システム（エネファーム）設置費補助金  
補助金額：5万円（商品券）  
☆住宅用太陽熱利用システム設置費補助金  
補助金額：3万円（強制循環式）（商品券）1万円（自然循環式）（商品券）  
○問合せ先：環境政策課  
電話：048-536-1547 FAX:048-536-2009

## 住宅新築や購入のための資金貸付や利子の補助が受けられます！！

- ☆勤労者住宅資金貸付及び利子補助制度  
取扱金融機関：中央労働金庫  
金利及び対象者：お問合せください。  
利子補助の期間：60か月以内  
利子補助の割合：年間支払利子の25%以内（市内在住の方）  
年間支払利子の50%以内（転入の方）  
○問合せ先：企業活動支援課  
電話：048-524-1470 FAX:048-525-9335



※この用紙の模様には熊谷染めの型紙を使用しています。

## 奨学金利子の返済のお手伝いもくまがや

### ☆奨学金利子支援事業

対象者：大学等卒業後の奨学金を返済する40歳未満の市内在住で市税を滞納していない方（その他の条件はお問合せください。）

補助の内容：利子年間支払額(上限3万円)

補助の期間：最長10年

○問合せ先：**教育総務課**

電話：048-524-1651 FAX:048-525-9330

## お子さんの医療費を応援します！！

### ☆こども医療費助成制度

助成期間：中学校卒業まで

(平成29年1月から高校生までに拡大)

助成内容：入院及び外来の医療費で保険診療の自己負担分と入院時食事療養標準負担額 熊谷市・行田市・深谷市・寄居町の医療機関で診療を受けた場合には、窓口での支払いが無料になります。(一部例外あり)

○問合せ先：**こども課**

電話：048-523-1066 FAX:048-521-0520

## さまざまな保育制度を活用できます！！

### ☆認定こども園

2か所

### ☆保育所

36か所

### ☆小規模保育事業等

5か所

### ☆放課後児童クラブ

47か所

### ☆駅前保育ステーション

内容：「ことぶき乳児保育園」、「スダナ保育園」、「しらこぼと保育園」、「籠原保育所」、「玉井保育所」、「ことぶき花ノ木保育園」に入所するお子さんの各保育所への送迎とそれに伴う保育が受けられます。

※実施場所及び問合せ先：ことぶきイーサイト保育園 電話：048-598-7351

☆病後児保育、一時保育、休日保育、家庭保育室利用の条件など：お問合せください。

○問合せ先：**保育課**

電話：048-524-1460 FAX:048-521-0520

## 子育て応援します！

### ☆子育て支援拠点数

19か所

### ☆子育て応援自転車おでかけ事業

内容：幼児2人同乗用自転車を購入した方に購入費の半額(最大3万円)を補助します。

### ☆ハローエンジェル誕生記念品プレゼント

内容：出生届を提出した方に、記念品をプレゼントします。

### ☆ファミリーサポートセンター事業

内容：育児に協力ができる人から、子育ての援助が受けられます。

○問合せ先：**こども課**

電話：048-523-1066 FAX:048-521-0520



◎ 内容や条件について、ご不明な点は、各制度の問合せ先までお問合せください。

問合せ受付：月曜から金曜日(祝日を除く。)の午前8時30分から、午後5時15分まで

発行：熊谷市総合政策部企画課 電話：048-524-1115 FAX：048-525-9222

※この用紙の模様には熊谷染めの型紙を使用しています。



## 〈報道発表資料〉

平成28年 3月24日

### 埼玉県北部地域地方創生推進協議会を設立しました — 県内初！\*地方創生に向けた協議会組織 —

※ 地方創生推進を主目的とする複数市町村による協議会組織として。平成28年3月現在。

(同時発表： 熊谷市定例記者会見／県政記者クラブ)

埼玉県北部地域7市町及び埼玉県北部地域振興センターでは、急速に進行する人口減少、少子高齢化問題への対応のため、「北部地域の未来を考える政策プロジェクト会議」を設置し検討を行ってきました。

このほど、検討結果に基づく戦略的事業を展開するため「埼玉県北部地域地方創生推進協議会」を3月23日（水）に発足させました。

地方創生に向けた広域連携事業を平成28年度から本格的に実施します。

#### ■ 協議会の特徴

- 県内初となる地方創生推進を主目的とする広域協議会組織
  - ・構成7市町全てが、自らの地方版総合戦略において本協議会を位置づけ。各市町単独の事業とも効果的に連携した事業展開を図る。
- 人口減少の主要因である若者層をターゲットに絞り込み
  - ・20年前と比較し20代が大きな転出超過、30代前後の転入超過が消失。
- 移住・定住促進施策を総合的に展開
  - ・県北部地域の魅力発信、結婚支援、就職支援、住居支援などを効果的に実施。

#### ■ 協議会概要

##### 1 協議会構成市町

◎熊谷市、○本庄市、○深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町  
(◎会長市、○副会長市)

##### 2 実施予定事業

- (1) 情報収集・発信事業 〈県北地域への関心を喚起〉  
移住促進コンテンツ作成、メールマガジン発行、移住対応 Web サイト設置
- (2) 結婚支援事業 〈結婚の夢を叶える〉  
若者へのコミュニケーション力アップ講座、親向け支援講座の開催
- (3) 就職支援事業 〈移住・定住のカギをしっかりと支援〉  
合同企業説明会・セミナー開催、Web サイトにおける仕事情報の掲載
- (4) 住居支援事業 〈若者の多様な住まい探しをバックアップ〉  
空家バンク設置、情報提供・PR



### **3 協議会設立総会**

- (1) 日 時 平成28年 3月23日(水) 10:00~11:30
- (2) 会 場 熊谷地方庁舎
- (3) 参加者 構成7市町、県北部地域振興センター
- (4) 議 題 協議会設立並びに役員選出等

#### <協議会構成市町(問い合わせ先)>

熊谷市 総合政策部企画課 細江

電話：048-524-1115、メール：kikaku@city.kumagaya.lg.jp

本庄市 企画財政部企画課 小島

電話：0495-25-1157、メール：kikaku@city.honjo.lg.jp

深谷市 企画財政部企画課 石塚

電話：048-574-8096 メール：plankika@city.fukaya.saitama.jp

美里町 総合政策課 木村

電話：0495-76-1114、メール：kikaku@town.saitama-misato.lg.jp

神川町 総合政策課 田村

電話：0495-77-0701、メール：sousei@town.kamikawa.saitama.jp

上里町 総合政策課 須藤

電話：0495-35-1238、メール：sousei@town.kamisato.saitama.jp

寄居町 総合政策課 根岸

電話：048-581-9958、メール：sogoseisaku@town.yorii.saitama.jp





くまがや  
熊家  
暮らし vol.2